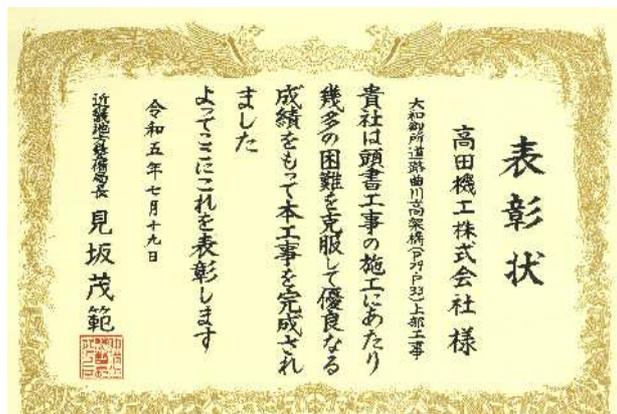


近畿地方整備局より優良工事表彰を受賞しました



優良工事表彰【局長表彰】

○工事諸元

発注者	国土交通省近畿地方整備局（奈良国道事務所）
工事件名	大和御所道路曲川高架橋（P29・P33）上部工事
施工場所	奈良県橿原市新堂町～奈良県橿原市雲梯町
橋梁形式	鋼4径間連続合成少数鈹桁橋
橋長	190.0m
総鋼質量	1,123 t
床版形式	鋼・コンクリート合成床版
工期	西暦 2019年11月27日～西暦 2022年08月10日

○工事概要

本橋は国道24号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、及び生活圈・活動圏拡大による沿線地域の活性化に寄与する大和御所道路のうち、曲川西地区に架かる橋梁上部工工事です。

橋梁形式は橋長190mを有する鋼4径間連続合成少数鈹桁橋であり、床版形式は鋼コンクリート合成床版を採用しています。

また、上部工とは別に、小槻北地区に架かる鋼製橋脚のアンカーフレーム7基を製作・施工しました。

架設工法には、作業ヤードによる占有範囲を小さくし交通量の多い国道24号の規制を最小限にするため、120tオールテレーンクレーンを用いて6主桁のうち合成床版を含めた4主桁を架設した後、残りの2主桁を架設する手順を採用しました。

○MRデバイスの活用

本工事は、国道24号線と側道等に挟まれる狭隘なヤードを利用し、鋼桁架設・合成床版施工を行う工事であり、特にクレーンバント工法での桁架設時に道路利用者に与える影響や、作業スペースの確保、架設手順などで発生する問題を事前に把握し、円滑な現場管理を遂行するため、MRデバイスを活用しました。

※MRデバイスとは、Mixed Reality（複合現実）の略称でAR（拡張現実）とVR（仮想現実）を併せた最先端の映像技術のことです。



施工状況



完成状況